

関係各位

2010年05月10日  
株式会社ジークス

ジークス、デジタルサイネージの新ブランドであるNTTグループの「ひかりサイネージ Lite」として製品・サービスの提供を開始。

株式会社ジークス（本社：東京都千代田区、代表取締役 木村幸夫）は、デジタルフォトフレームを使用した、デジタルサイネージシステム「Life+（ライフプラス）サイネージシステム」を本日より販売開始しました。

また、これに合わせ、本日、NTTグループが展開するデジタルサイネージブランド「ひかりサイネージ※1 Lite」に採用され、今後NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズ、NTTドコモなど、NTTグループ各社を通じて「Life+ サイネージシステム」の提供を行うことが決定しました。

「Life+ サイネージシステム」は、動画、静止画、テロップの再生が可能なデジタル・フォト・フレームに対し、サーバから自動的にプレイリスト、コンテンツを配信するシステムです。

ユーザーは、デジタルカメラや携帯電話で撮影した写真、商品紹介の動画などを気軽にお手元のインターネット接続可能なPCや携帯電話を使って、サーバ経由で店舗内端末へ配信できるため、高価なシステムを導入したり、難しい操作を習得せずに、手書きのPOP広告よりもはるかに表現力豊かなデジタルサイネージを簡単に利用することが可能となりました。

なお、本製品は「ひかりサイネージ Lite」として、2010年6月9日(水)～11日(金)開催のデジタルサイネージ ジャパン 2010※2 幕張メッセ（国際展示場）のNTTグループブース（No.6J21）に出展します。

また、本製品「Life+ サイネージシステム」「デジタル・フォト・フレーム」の製品説明会を、2010年6月1日(火)に秋葉原UDXカンファレンス(Room F)にて開催します。（詳細は後述）

以 上

本件に関するお問合せ先

株式会社ジークス 営業企画グループ  
E-MAIL : sales@zyyx.jp 担当：川口、廣木  
<http://www.zyyx.jp/service/dps/index.html>

※1：NTTひかりサイネージ <http://www.hikarisignage.net/>

※2：デジタルサイネージジャパン2010 <http://www.f2ff.jp/dsj/>



## 【Life+サイネージシステム 製品・サービスの特長】

### SaaS型で安価なサイネージシステム

コンテンツ表示媒体としてデジタルフォトフレームを利用しているため、安価で簡単に店舗向けサイネージシステムを構築できます。

### コンテンツはLife+サーバへ簡単アップロード

動画、静止画などのコンテンツは、Life+サーバへアップロードすることで即時にコンテンツ管理を開始できます。Life+クラウドストレージを利用して、コンテンツの容量を心配せずに運用することが可能です。

### PCからリモートで端末コンテンツを簡単入れ替え

端末を管理するためのLife+サイネージマネージャは、Webツールを採用。どのPCからでもブラウザを通じてコンテンツを入れ替えたりスケジュールを変更したりなどの端末管理が可能です。

### コンテンツをプレイリスト化して簡単管理

複雑なコンテンツ管理は必要ありません。Life+サイネージマネージャはシンプルに設計されており、コンテンツを「プレイリスト化」して利用するため、複雑な設定をする必要なく思ったとおりのコンテンツ再生が可能です。

### スケジューリング/グルーピング

「どの」プレイリストを「どの」端末グループへ「いつ」配信再生させるのかを簡単に設定可能です。

### テロップ配信

突然のタイムセール告知などで利用できる「テロップ配信機能」が搭載されているため、現場サイドでの販売機会を逃しません。

### 携帯電話からのアップロード機能

携帯電話のカメラで撮影した写真やテロップを Life+サイネージマネージャ にメール送信するだけで、最新のプレイリストにコンテンツを追加し、即時配信することが可能です。

### 死活管理

端末の近くにいないかとも、どの端末で異常が発生したのかなどの「死活管理」が可能です。

### ログ収集/レポート

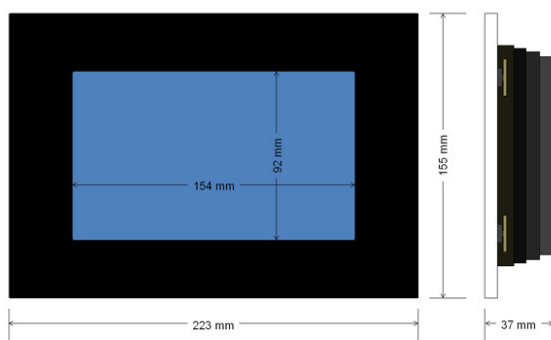
どのコンテンツをどのグループへ配置したのか、スケジュールを設定しどう変更したのか、また、端末ではどのようなコンテンツが表示再生されたのか、などのログを集中管理しリスト化、レポートします。

### 電源オン・オフ設定（時刻設定）

グループごとに端末の電源オン・オフの管理ができます。指定された時刻に自動的にオン・オフができるため、1台1台の端末まで出向いて電源スイッチを操作する必要はありません。

## 【端末の主な仕様】

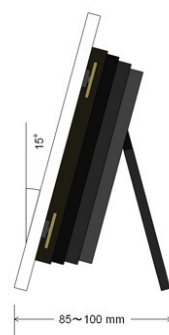
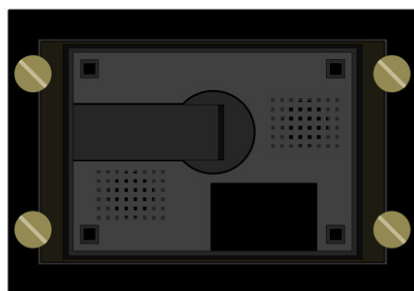
サインージ専用端末（ADS-725G）の主な仕様	
液晶モニター	7インチTFT液晶パネル（LEDバックライト）
OS	Linux (Ver 2.6.19)
補助記憶装置	フラッシュメモリー（1GB）
表示解像度	800×480ドット
無線LAN	IEEE 802.11b/g/n、WPS対応
メモリーカードスロット	SD/SDHC/MMC/MS
静止画フォーマット	JPG, TIFF, BMP, GIF
動画フォーマット	AVI, MPEG 1/2/4, Divx, Xvid, H.264, WMV9
音楽フォーマット	MP3, WAV, WMA9, AAC, AC3
インターフェース	0.25Wステレオスピーカー 3.5mmステレオヘッドホン端子 USB 2.0×1基（USBミニプラグB）



## 7インチ端末:

外寸: 155 mm X 223 mm X 37mm  
重さ: 360g

本体に収納されたスタンドを回転させ引き出すと、端末を自立させることができます。



※端末は7インチの他、10、19、32インチがございます。

**【デジタルサイネージシステム パートナー募集セミナー】**

株式会社ジークスでは、「Life+ デジタルサイネージシステム」の販売促進に向け、ビジネス・パートナー様を広く募集します。

つきましては、下記の日時、会場で製品説明会を実施します。

**開催日時：**

2010年6月1日（火）午後3時～午後5時30分 まで（開場は午後2時30分）

**開催会場：**

UDXカンファレンス〈Room F〉

<http://udx.jp/conference/index.html>

〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX南ウイング6F Tel : 03-3254-8421

<アクセス>

J R 秋葉原駅 徒歩2分、東京メトロ日比谷線 秋葉原駅 徒歩4分

東京メトロ銀座線 末広町駅 徒歩3分、つくばエクスプレス 秋葉原駅 徒歩3分

**主催：**株式会社ジークス

**参加費：**無料（会場定員60名）

**参加対象：**デジタルサイネージビジネス展開をお考えの方

**目次：**

午後2時30分	開場
午後3時00分 (10分間)	株式会社ジークス 代表取締役 木村幸夫 ご挨拶
午後3時10分 (40分間)	<講演> デジタルサイネージの市場性 デジタルサイネージコンソーシアム 常務理事 江口 靖二 様
午後4時00分 (40分間)	製品概要およびデモンストレーション
午後4時40分 (20分間)	ビジネスパートナー募集について
午後5時00分 (30分間)	質疑応答
午後5時30分	終了

**お申込み方法：**

URL : [http://www.zyyx.jp/service/dps/event/seminar\\_100601.html](http://www.zyyx.jp/service/dps/event/seminar_100601.html)

**■ 株式会社ジークス概要：** <http://www.zyyx.jp/>

代表者： 木村 幸夫

設立： 1994年8月29日

資本金： 2000万円

事業内容： デジタルサイネージ向けの端末およびサービスの企画・開発・販売

小型端末の企画・開発・販売

Webサイトコンテンツ・モバイルコンテンツの企画・開発・デザイン

Webシステムの設計、開発

高画質映像配信システム「ZYYX-TV」の企画・開発・販売

デジタル・ガジェット「chumby」の販売及びchumbyネットワークの提供

**■ 背景**

ジークスでは、会社設立以来、主に公共施設の映像機器制御、タッチパネルシステム、広告表示システムを多く手がけ、2002年にはSTB(セットトップボックス)を使用した高品位動画配信システム「ZYYX-TV」を開発、発売。2008年には米国chumby社の日本正規代理店となり、ウィジェット配信の新しい端末を提供するなど、一貫して、ディスプレイとネットワークを活用した新しい情報提供の形をご提案してまいりました。

昨今、ブロードバンドの普及、ディスプレイの低価格に伴い、デジタルサイネージへの関心が急速に高まる中、世界中で普及し始めたデジタルフォトフレームを活用した安価で手軽なサイネージソリューションとして、「Life+サイネージシステム」を開発いたしました。

**■ 今後の展開**

ジークスは、今後、デジタルフォトフレームのサイズ（7インチ～32インチを予定）のラインナップを拡充すると共に、Flashなどのウィジェット再生機能つきフォトフレームの提供、STBを利用した大型ディスプレイ対応システムの開発、iPadに代表されるスレート端末のサイネージ活用のご提案も行っていきたいと考えております。

今回、開発したLife+サイネージマネージャは、フォトフレームだけでなく、STB、スレート端末、携帯機器など、様々な端末を制御可能とし、時間と場所、用途に合わせたサイネージ要望にお応えすべく、拡張してゆく予定です。